

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2016年1月★第116号

亀裂と分断か？ 新しい希望か？

—2015年を振り返り、2016年を展望する—

理事長 長谷川 公一

12月12日パリのCOP21で画期的な協定が成立し、その歴史的瞬間に立ち会うことができました。会期中盤の12月5日から、採択当日の12日まで、連日サイドイベントやNGOの動きを含めウォッチしました (http://www.jccca.org/trend_world/conference_report/cop21/)。フランスのファビウス議長の采配が光りました。実効性の担保の仕方などをめぐって、なおさまざまな疑問や批判はありますが、今世紀末までに気温上昇を2度および1.5度以内に抑える、5年ごとにそのための実績評価をするという新しい時代をつくりだすことに世界195の参加国が合意したことは、大きな歴史的意義を持っています。拍手の過、何度も繰り返されるスタンディング・オベーション。「帰国後は実行だ」という声、「低炭素経済の新しい時代が始まる」という発言が各国代表から続きました。

「2015年は、日本と世界にとって大きな分岐点となることでしょう。」「10年後にあれが大きな曲がり角だったな、と振り返られることになるだろう大きな分岐点が、2014年12月の総選挙であり、2015年なのです。」1年前の本紙2015年新年号にこのように記しましたが、恐ろしいほどの中しました。ただしそれがどういう分岐点になるのか、その意味はまだ明確ではありません。どういう「終わりの始まり」なのか、あるいはどういう「終わりの終わり」なのか。歴史をつくりあげていくのは、私たちの日々の努力であり、実践です。私たちの今後の努力のいかんによって、2015年の分水嶺の意味も異なってきます。

また、「テロ」との戦いの名のもとになされる戦闘行為が、



木槌をたたき「パリ協定」採択を宣言するファビウス議長
Photo by IISD/Kiara Worth (www.iisd.ca/climate/cop21/enb/12dec.html)

結果的にさらなるテロを招くという悪循環がどんどん深刻化しています。テロと巨大災害・巨大事故に怯え続けるのが、21世紀の基本構図となってしまいました。国内では、2015年9月19日に成立した集団的自衛権に関する一連の法律によって、憲法9条の骨抜き化が格段に進行しました。2016年7月の参院選は、平和憲法を守り続けるのか否か、次の大きな分岐点になることでしょう。2016年がどんな年になるのか。世界はますます苦悩を深め、亀裂と分断を深めていくようにも思われますが、パリの歴史的合意のような、新しい希望も生まれつつあります。

私たちの原点は、みやぎの環境とくらしを守り続けることにあります。どうぞ2016年もみやぎの環境とくらしを守り、そして世界と未来の、持続可能で低炭素な社会をつくりあげていくために、引き続きご支援をお願いいたします。今こそあなたの力が、あなたの支えが必要です。

(2015年12月13日パリ協定採択の翌日に)

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。
1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することによってボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 新年のご挨拶「亀裂と分断か？新しい希望か？」
- P2 ストップ温暖化センターみやぎ通信①
- P3 ストップ温暖化センターみやぎ通信②
ESD環境教育プログラムを作成中です！
- P4 MELONcafe プチ講座
かんきょう見聞記一切にしたいものー
- P5 協同組合からのお知らせ
目指せ100人！環境リレートーク 結城翔太さん
- P6 仙臺農塾10～12月開催報告
- P7 農業問題は農家だけの話し？
実は家庭の中にもあるんです
大人も満喫！「秋の森で遊ぼう！in川崎町貸森林」
- P8 トピックス／イベント一覧／編集後記

ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.71

世界で今起きていることは？ COP21プレイベント「留学生と一緒に考えよう！温暖化×国際協力」

日 時：11月27日（金）18:00～20:00
会 場：フォレスト仙台5階 501会議室
ゲスト：鈴木洋一さん
（特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン）
ラカイ・ギヨームさん
（フランス出身、東北大学修士2年）
参加者：17名
共 催：Climate Action Network Japan（CAN-Japan）

11月30日～12月13日にかけてフランス・パリにて開催された温暖化に関する国際会議「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議」（COP21）に合わせ、国際協力の視点から温暖化を考えるイベントを開催しました。



ゲストからの話題提供

ゲストの鈴木さんが所属するオックスファムは、世界90カ国以上で活動する国際協力団体で、貧困支援や啓発イベントなどを行っています。気候変動は、途上国の農業を生業とする人々に影響を与え、飢餓などの貧困

に繋がるという一面もあるそうです。

フランスと日本の環境意識の違いなどをお話してくれ

たラカイさんからは、フランス人作家の言葉を引用した「Les forêts précèdent les hommes, les déserts les suivent（人類前は森林、人類後は砂漠）」というメッセージも。人類の環境破壊について、シンプルながらも痛烈な、心に刺さる言葉でした。

また、パリで発生した同時多発テロ事件の影響により急遽中止となったClimate Youth Japanとの現地中継に代わり、動画や写真を用いて今のフランスの様子やCOPにおける若者の活動などを紹介。参加者からは「とても刺激を受けました」「まずは身近なところから実践したい」といった感想をいただきました。今回は、国際協力に関心があって参加してくれた方も多く、このイベントを通して温暖化問題にも関心をもつきっかけとなれば幸いです。



参加者同士でディスカッション

「COP21報告会in仙台（仮）」開催のお知らせ

日 時：2月13日（土）13:30～16:30
会 場：TKPガーデンシティ仙台 ホールB-2
※詳細はWEBサイトまたはチラシをご覧ください

新事業「みやぎ薪・ペレット利用連携促進コンソーシアム」

薪ストーブ・ペレットストーブに興味はありますか？
県として購入に対する補助金はないものの、宮城県内でも薪ストーブ・ペレットストーブは広がりを見せています。年間で県内のストーブ導入は何百台もあるのではないかとされています。



そこで、今年度ストップ温暖化センターでは、環境省「地域活動支援・連携促進事業」を受託し、ストーブの販売店や工務店、森林組合や燃料製造所、市民活動団体と共にコンソーシアムを組んで新たな事業を行っています。

主な事業内容は以下の4つ。

- ①ストーブに関するさまざまな企業・団体によるコンソーシアムの構築
- ②県内50件の新規ストーブ使用モニターによるCO₂削減効果の測定
- ③1月16日（土）勾当台公園にて薪ストーブ・ペレットストーブ展示・体験フェスタを開催
- ④みやぎ版薪・ペレットストーブ手引きの作成

MELONの自然エネルギー等普及プロジェクトやみやぎ里山応援団と連携していることも特徴です。今年度の短い期間の事業ですが、今後宮城での木質バイオマスの利用を大きく広げていくための基盤として、ネットワーク作りやデータの収集分析をしていきます。今後の展開をご期待ください。

※コンソーシアム＝共同体、連合体

推進員だより No.20

一人から二人、二人から三人へ ～伝える楽しさ、つながる喜び～

菊地ひろ子さん

10月23日（金）福島県郡山市中央公民館にて開催された「平成27年度うつくしま地球温暖化防止活動推進員養成研修」の中で、宮城県の推進員菊地ひろ子さんが活動紹介を行いました。「人の心を動かすためには自分も変わらないといけない。そのためにも実践して説得力をupさせる」とご自身の経験を伝える菊地さん。伝え手として常に相手の立場になって考えるというお話に、参加者は納得した様子で熱心に聴いていました。

他県の推進員同士が交流する機会は少ないので今後こういった場が増えるといいですね。



休憩時には菊地さん直伝の風呂敷活用術ミニ講義が開始！

新規のうちエコ診断士も活躍中！！

昨年8月に実施された「うちエコ診断士資格試験」。筆記と実技試験の関門を突破し、宮城県うちエコ診断実施機関に5名の新たなうちエコ診断士が誕生しました。既存のうちエコ診断士を含めると全員で16名になりました！新規のうちエコ診断士もさっそく10月からイベント等で大活躍しています。

「地球温暖化防止」、「省CO₂対策」と聞くとピンとこないかもしれませんが、つまりは節約です。我が家の光熱費の現状を知りたい、見直したい！ガス代や電気代を減らしたい！家電製品の上手な使い方を知りたい！そんな方はぜひ、節約術のスペシャリスト「うちエコ診断士」にご相談ください。ご家庭のライフスタイルにあわせて無理なくできる節約術をご提案します。



丁寧に節約術を説明する診断士と熱心に聴く受診者



ESD環境教育プログラムを作成中です！

現在、環境省からの請負事業として、東北6県で小中学生向けのESD環境教育プログラムを作成しています。その一部を紹介します。

青森では地元の取水場見学や水源のトレッキングを通じて、おいしい水をはぐくむ地域の豊かな自然を知り、守ることの大切さを学ぶプログラム。秋田では県内に3ヶ所あるジオパーク（地球科学的な価値を持つ大地の遺産のこと）を見学し、それができた歴史や自然の素晴らしさを知り、持続可能性について考えるプログラム。東北各県で環境教育に携わるNPOの協力を得て、大変興味深いプログラムが作られています。



秋田のプログラム実証授業

2月6日（土）には、

今年度作成した東北6県すべてのESD環境教育プログラムの成果発表会を開催します！教育関係者はもちろんのこと、一般の方のご来場も大歓迎です。ぜひともお越しください！



青森の水源の森をめぐっている様子

※ESD…「持続可能な開発のための教育」のことで、2002年のヨハネスブルグサミットにおいて日本が提唱した。

「東北地区ESD環境教育プログラム成果発表会」

開催のお知らせ

日 時：2月6日（土）13:30～16:50

会 場：仙台市情報・産業プラザ セミナールーム2

※詳細はWEBサイトまたはチラシをご覧ください



MELONcafe

- 10月31日（土）13:30～15:30
「古着をリメイク♪ネコのブローチ作り」
- 11月28日（土）13:30～14:30
「松ぼっくりのサンタ作り」



完成品をストールにつけて帰った方も♪

MELONcafe プチ講座は、環境について考えるきっかけやエコな情報を提供したり、参加者同士が交流できる場です。10月は着なくなった着物を利用して、ネコのブローチを作りました。一人ひとりの個性がでて、ネコの表情はさまざま。モチーフがともかわいいことと、作る度に表情が変わるため、「ハマった」方もいたようです。捨てられずにいた布で何個も作ったというお話を伺いました。

11月は、拾い集めた松ぼっくりをかわいいサンタさんの置物にリメイク。作成前に、森林に関する勉強！森林には地球温暖化の原因となる大気中の二酸化炭素を吸収し固定する働きがあります。若い時期の森林の方が吸収量は多いと言われています。そのため植林するだけでなく、森林資源を活用することも重要です。人間が一度手を入れた山や森は、手入れし続けないと良い循環が生まれないことを学び、手のひらにのる小さな松ぼっくりから、世界はつながっていると感じました。おひげや目の付け方で表情が変わるので、参加者は楽しみながらオンリーワンのサンタさんを作っていました。自分にできる身近なことから環境負荷を減らしていきたいですね。



おひげの長さやボリュームで個性がでます☆

今後のMELONcafe プチ講座

3月12日（土）13:30～14:30
「米粉で簡単♪桜もち&イチゴ大福作り」



大切にしたいもの

映画篇④

「カタプタリ
～風の村の伝説～」
石垣政裕（MELON 理事）

昨年10月30日、ネパール大地震を支援するためのネパール映画「カタプタリ」上映とトークおよびコンサート（日本人で、ネパールの大衆歌謡歌手スナダリミカさん）が行われたので出かけて行きました。映画「カタプタリ～風の村の伝説～」は2008年に公開された、日本人監督伊藤敏朗さんの作品です。「カタプタリ」とは木でできた操り人形のことだそうです。

ある村に毎年やってくる操り人形の一座が、今年もやってきました。都会のカトマンドゥーから祖母の故郷にやってきた主人公ラメスは、たまたまこの一座に出会います。人々の心を和ませていた人形は、いつの間にか女の子に変わり、ラメスはこの（人形の妖精でしょう）女の子に魅せられます。

ラメスは成績がよく、田舎の生活を離れ、再び都会へ出ていきます。エリートになった彼は、外国で勉強してネパールに帰り、やがて伝統的な建築や自



然などを残そうとするトラスト運動の事務所に働き始めます。しかし、都会の人々は『新しい生活、新しい生活』と伝統的な建築物の価値など見向きもしません。ラメスは病気がちな自分の子どものために、子どもころ操り人形一座が来ていた村を家族とともに訪れます。そこには、まだ豊かな自然があり、人なつっこい人間関係があり、重んじられる伝統がありました。ラメスには自分のいまの活動が、子どもころの妖精との交流が大きく影響しているような気がしました。そのとき、ふとそこに、子どもころに出会った女の子を見たような気がしたのです。

震災以来、スクラップ・アンド・ビルドだけに汗を流しかねない私たちにも通じるような気がしてならないファンタジーなのです。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

フェアトレード・カフェ開催！

「フェアトレード（公正な貿易）」は、お買い物を通してできるとても身近な国際支援活動です。

みやぎ生協では、より多くの方にフェアトレードについてお知らせするため『フェアトレード・カフェ』を開催します。会場では、フェアトレード商品（衣料品・アクセサリ・雑貨・食品など）を多数展示、コーヒーやオーガニックティーなどの試飲もお楽しみいただけます。どなたでもお気軽にご参加ください。終了後に、展示した商品を定価にて販売いたします（クレジットカード利用不可）。

日 時：2月13日（土）10:30～12:30

会 場：みやぎ生協文化会館ウィズ2階会議室（仙台市泉区八乙女4-2-2）

参 加 費：無料

託 児：無料（1歳児～未就学児まで・事前申し込み必要）

申込方法：住所・名前・電話番号、託児希望の方はお子様の名前・年齢を明記して、ハガキ・FAX・Eメール等で下記までお申し込みください。

申込締切：2月5日（金）まで（託児希望も同様）



品質の良さを
実感してください

申し込み・問合せ先 みやぎ生協生活文化部

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL: 022-218-3880 FAX: 022-218-3663 Eメール: sn.mkankyouk3@todock.jp



目指せ100人！

環境リレートーク



第59人目の執筆者

結城 翔太さん

（結城果樹園3代目・宮城の
こせがれネットワーク所属）

「日本ミツバチにみるカミカゼ精神」

数か月前、果樹園内の樹齢55年の林檎の木の中に、日本ミツバチが巣を作っているのを発見しました。毎年春に、私たち果樹農家が養蜂家さんからお借りし、授粉を手伝ってもらうのは「西洋ミツバチ」。日本ミツバチは採蜜量が非常に少なく、神経質な性格の為、養蜂には向かないのです。その反面非常に穏やかであり、毎日のように巣に顔を接近させて観察する私に対しても知らん顔でせっせと働いています。

先日、いつものように仕事の前に彼らの巣を観察しに行くと巣の前に一匹のオオスズメバチが。体が小さな日本ミツバチは、オオスズメバチの頭ほどの

大きさ。もうだめだと思った次の瞬間、すごいことが起きました。あっという間に集団でオオスズメバチにとびかかり瞬く間に黒い「蜂球」をつくり、ブブブという低い音とともに皆で体を震わせています。数十分後、巣の前にあったのはオオスズメバチと数十匹の日本ミツバチの死骸。彼らはオオスズメバチを集団で取り囲み、「熱死」させたのです。これは、世界で唯一彼らだけが持つスズメバチ撃退法です。まさにカミカゼ戦法ともいえるチームプレイ。この勇気ある行動をみて、「団結」することの素晴らしさを改めて感じました。

<連絡先>

結城果樹園

〒989-2301 亶理郡亶理町逢隈中泉字中119-1

TEL & FAX 0223-34-6415

結城 翔太 tk1112036@gmail.com

… 次号執筆者紹介 …

村岡 次郎さん

（有機農家）



仙臺農塾

大人の食育プロジェクト

第2回大人の遠足・桂島編「松島湾の牡蠣料理と島歩き」

日 時：10月24日（土）9:15～15:30

会 場：桂島

（宮城県漁協浦戸支所、牡蠣剥き場、島内等）

ゲスト：酒井敬一さん

（宮城県水産技術総合センター所長）

参加者：21名

第3回「宮城の在来作物～調査から学んだこと～」

日 時：11月25日（水）19:00～21:00

（12月16日追加開催）

会 場：TRATTORIA CUCINA L'ORANGERIE

（宮城野区榴岡4-6-28ホテルレオパレス仙台2階）

ゲスト：齊藤秀幸さん

（宮城大学 食産業学部ファームビジネス学科助教）

参加者：18名

第4回「美味しい林檎の物語」

日 時：12月5日（土）16:00～17:30

会 場：Kaffe tomte

（青葉区立町18-12ライオンズマンション西公園第3 1階）

ゲスト：結城翔太さん（巨理町 結城果樹園）

参加者：28名

第2回は松島湾に浮かぶ桂島を訪れ、震災から復興に向かっている豊かな海を体感してきました。ゲストの酒井敬一さんから、震災で甚大な被害を受けた漁港の現状、牡蠣の構造や最近流行りの食べ方、その流行りに対応できるように生産者側が工夫を凝らした養殖方法などを伺いました。震災で市場の流通ルートが変わってしまったそうです



マイ牡蠣剥きナイフ片手に
お話しされる酒井敬一さん



遠足と言えば、やっぱり集合写真ですね♪

が、消費者の声を聴いてそれに応えようとする生産者の努力が、美味しい牡蠣の味となって参加者のみなさんに伝わっていたようです。



普段はとてもラフな服装が多いという
齊藤秀幸さんのレアなスーツ姿！

第3回のゲストは、20年ほど前に宮城の在来作物を調査した齊藤秀幸さん。家系図に関しても博識で、在来作物と家系図の共通点を見出し、失われつつある在来作物を守っていくための方法

を模索されています。ただ育て続けていくだけではなく、どのようにして調理されていたのかを調べ、新たな利用方法を考えていかなければならないとおっしゃっていました。消費するだけではなく、生産や加工のことにまで目を向けていく必要があるということを感じさせられました。宮城の在来作物のお話を伺うだけではなく、料理にもふんだんに取り入れていただき、耳でも舌でも味わうことができた講座でした。

第4回は仙臺農塾初の果樹農家がゲストです。結城翔太さんは、宮城大学食産業学部在学中にアメリカの有機農家で研修を経験し、結城果樹園に三代目として就農。宮城の林檎は全国生産量のわずか1%しかありませんが、他の生産地に負けない美味しい林檎があります。それは、「霜降り林檎」。巨理は暖かいため、花をつけてから収穫までの期間が長く、蜜が霜降り状に入ります。蜜の周りの果肉が甘く、より美味しい林檎になります。収量も価格も他県に敵わないため、市場には出回らず、多くが直接お客さんに販売されています。冬には樹を剪定し、一つひとつ花を受粉し、実を間引き、実に日が当たるように葉を摘み、林檎の実を回し、1年かけて手間暇をかけて育てます。直接お客さんに届けるからこそ、美味しい林檎作りを続ける、知人ぞ知る巨理の林檎をぜひ今年の秋にご賞味ください。



果樹農家三代目の結城翔太さん。
ミツバチの楽しいお話もたくさん伺いました

農薬問題は農家だけの話し??実は家庭の中にもあるんです

食部会で実施した「ネオニコチノイド系農薬」に関する意識調査は、おかげ様で809名からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。そのうち、農作物の生産者が121名、加工・流通に携わっている方が94名で、現在分析をしているところです。

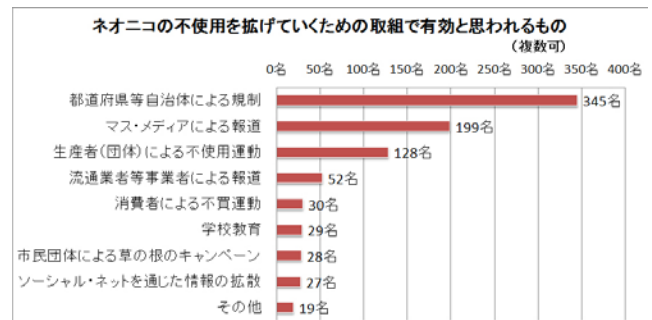
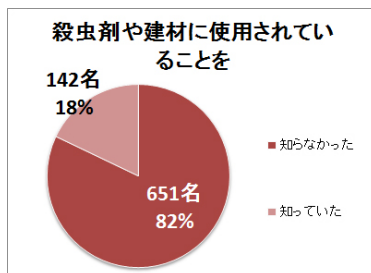
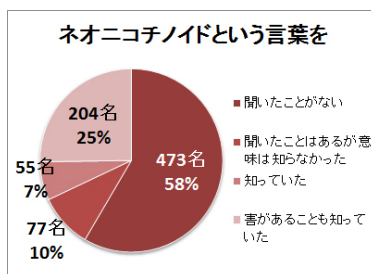
「ネオニコチノイド系農薬」は、1990年代半ば頃から殺虫剤として広く使われるようになった新しい農薬です。この農薬は、神経毒性の強い殺虫剤で、環境中で分解されにくく長いものでは数か月から数年にわたり毒性が持続します。各地でミツバチの姿がなくなったり、トンボを見かけなくなった原因ではないかと言われている

農薬です。さらに、発育途上の胎児や乳幼児への影響も懸念されています。

MELONの会員や関係各所にアンケートを依頼したため、環境に関連する方々が多いと考えられますが、「知らない」という回答が多いという現状です。特に、言葉は知っていても「農薬」という言葉のためか、身近な園芸用殺虫剤やペットの

ノミとり、建材のシロアリ駆除や予防、森林や公園の松枯れ対策として、身近なところでも使用されていることは、ほとんど知られていません。

不使用を拡げるためには、自治体による規制やメディア報道、生産者の取り組みが有効との声が多いですが、その取り組みを広める原動力は、私たち「消費者の声」です。知識を得て、自分たちの周りの環境をどうしたいのか、考えてみませんか？



ネオニコシンポジウム

「家庭にも潜む話題の新農薬ってなあに？

～知らずに食べていませんか？～ 開催のお知らせ

日時：2月11日(木・祝) 13:30～16:00

会場：エル・パーク仙台6階スタジオホール

講師：水野玲子さん

(「知らずに食べていませんか？ネオニコチノイド」著者)

※詳細はWEBサイトまたはチラシをご覧ください

※この事業は一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストの助成を得て行っています。

大人も満喫！「秋の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林」

日時：10月17日(土) 9:00～15:30

場所：川崎町貸森林(川崎町前川)

集合・解散：JR長町駅

講師：エコ・森林

(宮城県地球温暖化防止活動推進員グループ)

参加者：14名

毎年春と秋の2回開催している「森で遊ぼう！」講座。当日キャンセルもありいつもより少なめの参加者数でしたが、初参加の方ばかりでみなさん思いっきり森を楽しんでいました。子どもはターザンロープやブランコ、どんぐりのプレスレットやゲコゲコ笛作りを体験。一方大人には今回重要な任務がありました。竹筒で炊くご飯の火の番です。強すぎると竹筒も燃えてしまうため、不安定な竹筒にまんべんなく火があたるように調整します。

火を見ていると気持ちも落ち着きますし、自分で炊いたご飯を子どもと一緒に食べるのは格別だったようです。

自然体験をしたことのない親世代も多いと思います。親が一緒になって自然を楽しむことで、子どもたちも安心して遊べるのかなと感じた講座でした。



子どもは自由に遊び、大人は火の番に集中

太陽光発電補助金申請、締切迫る!

MELONでは、宮城県の住宅用太陽光発電システムに対する補助金の受付窓口業務を受託しており、現在受付中です。今年度の補助対象者は、電力受給開始日が2015年1月1日から2015年12月31日までの方です。

■申請受付期間：2月29日（月）まで必着

■補助金額：1件あたり 6万円（定額）

■補助予定件数 約4,600件

※ただし、予算額に達した場合は期限前でも受付を終了します。その他詳細は宮城県再生可能エネルギー室WEBサイト（以下URL）をご確認ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/taiyoukougaiyou-h27.html>

「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅の模型とパネル」を展示中

エコ住宅部会では、これから建築される住宅がより環境に配慮された仕様になるように、模型とパネルを作成し、展示しています。ぜひお立ち寄りください!!

■展示期間：3月末日まで

■場 所：気仙沼市みやぎ生協集会所（気仙沼市東新城3-3-1）

※施設が開錠している時間に見学可能



【MELONジャーナリスト活動学生がゆく!】第1弾「走れ東西線!!～人・環境・未来をつなげ～」

情報センターでは学生ボランティアと一緒に、環境に関する取り組みを取材し、WEBサイト等で情報発信しています。開業前の地下鉄東西線取材記事掲載中。以下URLから「情報センター」のページに入って「MELONジャーナリスト活動 学生がゆく!」をクリック☆
<http://www.melon.or.jp/melon/zyouhousenta.html>

編 集 後 記

■今年度は仙台市3R講師派遣事業で4Rクッキング体験講座の依頼が多く来ています。保温調理ってすごい! ご飯も加熱時間10分程度で後は保温すれば美味しく炊けるなんて知らなかった…。寒くなる冬、保温調理は大活躍です! 煮物はしみしみ～鶏ハムはしっとり～にできますよ。(廣重)

■冬の競技と言ったらフィギュアスケート♪スケーターの演技の美しさとスパーマンシップに感動します。スポーツや芸術・勉強に勤しめる環境が守られ、世界中に広がっていく1年でありたい。(高橋)

■昨年は地域センター職員の研修やうちエコ診断で県内の市町村回り等々、沢山の出会いがあった1年でした。今年はどんな出会いがあるのか楽しみです! (吉田)

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

1/9 (土)	水部会 例会
1/12 (火)	食部会 例会
1/16 (土)	「始めよう! 炎のある暮らし～薪ストーブ・ベレットストーブ展示・体験フェスタ～」開催
1/19 (火)	MELONcafe 例会
1/21 (木)	情報センター 例会
1/27 (水)	仙臺農塾 Vol.4 第5回 「だし旨味 意外と知らない基本のき」開催
1/29 (金)	4R 推進部会 例会
1/31 (日)	「なっ得! 発見! みやぎ環境フォーラム」にブース出展
2/6 (土)	「東北地区ESD環境教育プログラム成果発表会」開催
2/11 (木)	ネオニコシンポジウム 「家庭にも潜む話題の新農薬ってなあに? ～知らずに食べていませんか?～」開催
2/13 (土)	「COP21 報告会 in 仙台 (仮)」開催
2/14 (日)	「エコ研修会 (仮)」開催
2/24 (水)	仙臺農塾 Vol.4 第6回 「雪下にんじんを味わう ～有機野菜でつながる農業～」開催
2/28 (日)	「しちがはま環境フェスタ」にブース出展
3/12 (土)	MELONcafe プチ講座 「米粉で簡単♪桜もち&イチゴ大福作り」開催
3/23 (水)	仙臺農塾 Vol.4 第7回 「里山に暮らし地あぶらを搾る 菜の花と風景のおいしいつながり」開催
3/26 (土)	「家庭用蓄電池付ソーラーシステムを知って、使ってみよう! ～あなたのうちのパワーステーション、自宅ミニ発電所ははじめませんか?～」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉

685 名

法人 68

任意団体 13

個人 604

2015 年 11 月 30 日現在



ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差上げます。5つ貯まると1,000円分のMELON協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用いただけます。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <http://www.melon.or.jp/melon/>

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。



この印刷物は、輸送・マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。